広報こすど
発行所
小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行
編集人 矢部藤三郎

# 年頭にあたり 町の総合計画を

小須戸町長　村山吉五郎

新年お目出度存じます。年頭に際し小須戸町々民の皆様に御挨拶を申上げます。私は昨年五月町長に就任以来、皆様と御約束を致しました施策を実行に移し、着々其の成果を揚げつゝあります事は既に皆様御承知の事と存じ上げますが、これ偏えに町民各位の御協力の賜物と深甚なる謝意を表する次第で御座います。

今年は龍年で御座います龍が雲を呼んで天に昇ると云われて、まことに隆盛の年を迎えるわけで御座いまして、縁起のよい小須戸町としてはほんとうに発展の喜びの年に致したいと念願して居ります。然し良い年には又種々障害も起きてくるものであると考えなければなりません。災難の無い事にした事は御座いませんが、備えあれば憂いなしと申しまして出来得る限りの用心をして勇往邁進致したいと存じます。

どうか町民の皆様に於かれましても充分の備えを致され、今年こそは良い年発展の年となされますよう御願い申上げます。

小須戸町としては今年これから進めるべき事実行に移さねばならぬ事等を申上げますと次の事が急務であります。先ず第一に旧上水道の改善を致さねばなりません。第一期工事は水源池の移転改良と幹線水道管の敷設、将来の人口の増加其他を織込んだ完全上水道に改良したいのであります。第二期工事は埋設旧水道管の取換え工事をして水質の改善したものをそのまゝ完全に送水したいのであります。次に瓦斯事業実施の開始を致したいと思います。所管官庁へ申請書も提出の運びに至りましたので、今年のお盆頃迄には一部瓦斯の供給を開始致し成可任期に小須戸町全域に瓦斯が配給出来得るようにしたいと急いで居ります。

又次に町営住宅の第二期工事の建設を進めたいと存じます。現在三十八年度分として町営住宅二十戸建築中でありますが、引続き直ちに予定してある第二期計画三十二戸の建設に着手致したいと思います。既に用地も埋立中であり、実行に支障はありませんが尚その上もつと町営住宅を増設して小須戸町の若い働く人の為め、特に新婚の家庭を持つ人に住む家を提供したいと同時に又今まで住宅不足の故に困つて居られる方々に大いに住宅を造ってさしあげたいと存じます。

中学校の全体の綜合的改築を進めて行きたいと思います。鉄骨造りの体育館と特別教室並に管理室其他附属校舎の鉄筋コンクリート造りを年次計画で改築を進めてゆきたいのであります。即ち小須戸町中学校として世間並に見劣りのしない校舎にして良い学生の育ちの場にふさわしいものにしたいのであります。

又保育所、幼稚園、定時制高校舎の建設も進めてゆきたいのであります。

台風の被害を受けた旧中学校舎は取崩しをしなければなりませんので、之れを好機に移転改築をして保育所、幼稚園並に定時制独立校舎を建築したいのであります。定時制高校舎の独立は永年の念願であり、又保育所の完備と義務づけられる幼稚園の設置等をこの際実行に移したいのであります。鵜出古木橋の架設については地元両岸の人々の永年の希望であり其機運も盛が上ってまいりましたので、この程設計も出来上りましたから今年こそは実行に移したいのであります。今後経費の負担区分に於て相当苦労が案ぜられますが、各方面の御協力を得て進めてゆきたいと思います。

都市計画も今年こそは実行に移してゆきたいと思います。既に県当局としましては〳〵折衝を重ねて進めてきましたが、将来小須戸町の発展のため住宅地、商店街、工場敷地、又町民の健康の為めの広場、役場、公民館、図書館、産業会館、青年研修場、其他の施設又娯楽設備等計画を立てる上に是非都市計画を早急に進めたいのであります。横町の道路の舗装は目下の急務であります。今日まで横町の道路拡張と舗装が遅れておった事は小須戸町の大損失でありました。今年こそは関係者の方と全町民の皆様の御協力を得て是非とも実現致したいと存じます。其他山の手の都市計画と施設、下水道、衛生管理の問題、し尿処理場、火葬場等緊急解決しなければならない事即ち小須戸町の発展は人口の増加にありと信じます。今後十年迄に於て小須戸町の人口を二万に増加する事を目標としての施策を立てゝ望みたいと存じます。今年こそは町民皆様の御協力を得て小須戸町将来百年の大計を樹立する最良の年にしたいものと希念致して居ります。何卒町民皆様の特段なる御支援と御協力を切に御願い申上げる次第で御座います。

「辰」　小田哲画

# 完全給食と体育舘建設に努力

おくればせながら当町連合PTAが発足してより二年、およばぬ身を持ちながら折に三PTA会長会合の折出て来た、比較的焦眉と思われる問題を列記して、皆々様の御理解と御協力をお願い致したいと思います。

本年中明け暮れた問題は完全給食の問題でした。この点については未実施校が一市町村に一ヶ校もないという例は、稀に見るものであり、さらに当町学童の体位を考える時何等かの形で昭和三十九年には実現していただきたいという念願であり、この実現こそは全PTAの期待であると信じております。

幸い三十八年度は当局の特段の御配慮により三校同時に、完全給食の前提となるミルク給食を実施して頂き、本当にありがとうございました。喜々として暖いミルクコップを手にしての児童の姿を見るにつけ、親として先生としての責任と喜びを感じておるしだいです。小須戸小学校に於ては小体育舘の建設は年来の要望であり、先年度児童災害件数が県下九位という汚名をきせられている最大の要因も、狭い体育舘によるところが多いと考えられます。特に明年度は十周年に当る時であり、図書舘の充実と相まって重要必緊的であると思われます。

矢代田小学校においてはなんとしても屋外運動場の拡張が最大の問題であると思います。幸い当局が着々その歩を進めているとのお話しをお聞きいたし、希望に胸をふくらませているしだいであります。

中学校においては、なんとしても老朽校舎の整理に伴なう普通教室三教室と被服調理等を含む特別教室五教室の増設であります。この問題につきましても当局では十分意を注がれているようにおうかがいいたし感謝申し上げております。

以上限られた紙面をかこちながら書きましたが、教材教具の充実の問題もきわめて、迫られた問題と考えられますので、皆々様の御理解と御支援をお願いいたします。

小須戸町連合PTA

# 減税とサービスで

年のせいか、「タツ年」と聞いたゞけでも嬉しくなる様な新年を迎え、謹んで年頭の御よろこびを申上げます。昨年は人それ〴〵非常に思い出の多かった年でしたが、待望の小須戸橋も近年稀な盛大な竣功式典で幕を閉じ、漸く渋滞して居った交通も通常化しずつありますが、私共商工会では常に他に誇れる町長と共に、一日〳〵を少しづゝでも住み良い町にすべく協力、精進して参りました。就いては長年夫々のカラー、センスのサービスで皆様にお馴染み深かったサービス店会、山手、三八、優良店会等四店会が今迄の消費者皆様の御批判を基として会議に会議を重ね、真剣に検討の末、各店会が極めて和やかに合同と申しましょうか、発展的解散と申しましょうか玆に芽出度く新しく全商店一本になって「小須戸スタンプ」として生まれ変わり、二月一日より発足する事になりました。今度こそどなたからも喜んで頂けるものとサービスに万全を期して張り切つて居ります ので精々御ひいきに願います。

次に商工会として、又ひいては町全体の問題として運動を続けて参りました諸案件の中、特に今年こそ是非町当局の御力で実現させて頂き度い事を二、三列記御願いして年頭の辞と致します。そして皆様からも又多くの御賛同並に陰陽の御協力を頂けるなら此の実現もさして難事ではないと思いますので――先ず

一、電話を即時制にして頂き

一、電話を有線放送と直結して貰える様にして頂きたいのです。

即時通話については電話帳の表紙裏をメクッテ見て下さい。中央タテ欄の青色の所の町村の多くが小須戸と同じく磁石式の町村で、しかも小須戸よりもっと小さい局でさえ即時制になっているのです。尤も数年前或る人のお骨折りで即時制になる直前迄話が進んだのですが、ホンの少し?の事情でお流れになってしまったのだ、との話もある位可能性もありますので自動式運動して、せめて新潟、新津、白根、五泉と位はすぐに通話が出来る様にして頂き度いものと考えて居ります。又有線放送との直通については数年前より数十ヶ町村に農協でテスト、或はモデルケースとして実施し好評サク〳〵と云われて居りますので之も急いでその様にして頂きたいものですね。次ぎに最も関心ある町民税の一本文法式採用については兎角税金が高い〳〵と云われて居りましたが今度既に御承知と存じますが自治省で二年計画で全国本文法式に一本化し、町民税を全国一律安くしてやろう。しかも之による民税減収分（町の三分の一位になる額）は国で一切メンドウを見て下さる。（二年目以降は二〇%位補助）という事になるのだそうですがこんなに皆が喜ぶ事は特に卓越せる町長の政治力で他町村より一日でも早く本文法式に改めて頂くべく今から準備態制に入って行って頂きたいものと特にお願い申上げるものであります。その他町営ガス事業や横町――矢代田線の舗装の促進等々についても格段の御尽力を願ってやみません。今年はとにかく「タツ年」です。スタミナつけて大いにハツスルしょうではありませんか。

小須戸町商工会

期　日　1月15日（成人の日）
会　場　小須戸小学校　第一音楽室

# 成人式

該当者　昭和18年1月16日より19年1月15日までに生まれた者
※　名簿もれであって、該当される方は、当日出席下さい。
主催　小須戸町

# みんなの学習の場を

青年たちが望むというよりは、一般町民の望みでもありましょうが、私たちはまず青年というか、若い者たちが集って学習のできる場所がもっともほしいのです。

現在でも公民舘というやかたはありますが、ここでは学習する場とはいえないと思うのです。一口にいって社会教育活動を進める中心の場所とはいえない貸席といった方がよい良いと思うこともありますが。使用予定表はもうぎっしりであり、自分達の都合というよりは、会場の都合で会合が開かれるというありさまであります。

現在の青年は農村であっても、ほとんど勤めに出ています。自分の都合というよりは会社の都合というのが多くて、農閑期の青年学習は一層むずかしくなっております。そんな現実の中でより深いところにある社会を知るためにもまた次の時代を受けて立つ若者となるためにも、一層大切なものは、学習であり、人間同志の和であると思います。

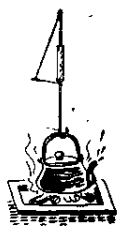
こんな点で私たちはまだまだ学習を進めていかなければなりません。大切なことは学習の場となる青年研修所あるいは公民舘というか、学習の場と公会堂的な役割をもつものと、別に作ってもらいたいものであります。

幸いにして、さる十二月十六日公民舘において町政懇談会の席上、村山町長さんは、新しい町つくりの中で青年の研修所や、町民のための屋内体育舘を計画におりこみ、進めて行きたいと話されておりましたが、これに私たちは力をえて、一層青年としての学習を進めたいと、ファイトをもやしております。

この望みとファイトを、うちこわすことなく一日も早く、私たち青年のために、ひいては小須戸町民のために、早期実現を私たちは望んでいます。

一青年団員

# なぎさ　新しいこと



新しい年、新しい気分は、やっぱりいいものなんでしょうね。

小須戸橋、新築の中学校、など引き合いに出さなくても、新しいよみ新しい服、新入生、新婚それに最近の新しい生活用品等に嬉しいもの、よいものなんでしょう。

ところが、あんまり歓迎されない新しいものが一つ「新生活運動」以前からいろいろ宣伝もされ、現在も推進されていながら、なかなか実現のピッチはあがらない、どうしてなんだろうか。

そういえば新しいもの、このよいものが考えようでは、困ったことよくないことにもなりかねない新しい服が叱られる材料になり、おちおち活動できなかったり、新しい便利な品物が、家庭経済に大穴をあけたりしたら。

○　○　○

お正月です。せめて正月うちくらい楽しい嬉しい好ましい気持で、いわゆる正月気分を味おわうではありませんか。

A家の三年生の長男、二学期は少々はめをはずしすぎて、もらってきた通知表はガッタリ落ちてしまいました。本人はすごすご持ってきました。日頃口やかましいお母さん、時々どなられるお父さんに今夜はひどいぞと覚悟していたのかも知れません。

両親にしてみれば、かけがえのない男の子です。本人にかける期待も大きく、それだけに日頃忙しい毎日にも、あれこれ気を使って、机がいる、勉強する場所もいる。友だちをえらんでとあらゆる知識をしぼったあげくの成績、両親のガッカリしたことは、申すまでもありません。

「どうしましょうば」というわけで、日頃教育家をもってなるBさんに恥をしのんで相談に及んだしだい。

「お前さんそれで成績のさがついたわけを考えてみたかの」

「とんでもねえ、学校の先生の話も聞いて、できるだけのことをしたつもり」

「そこだて、子どもさん近頃よく遊ぶようになったと違うかの。身体も大きくなったようだし」

「うーん。そういえば。暗うなるまで友だちと遊んでるし身体つきも大人げになったろも」

「それこそ、子どもさんには、何よりの大進歩だ今学期はからだ作りにがんばったすけ、三学期は勉強の方もがんばろうやゆうて、励ましたこてね」

「……。」

残念ながら、さんざん小言を並べた後でした。

# 火の用心

# 成人者のみなさんへ

昭和三十九年初春を迎え皆様方には御壮健の事と存じ上げます。

本年成人になられます方々には、職場に家業におはげみの事と存じます。皆様にはもう年金等に御加入の事かと思われますが、御家業等にいられます方達にはぜひ共年金に御加入して頂かなければなりませんので一月十五日の式の当日印鑑御持参下さるよう御願い致します。

今後皆様方にも年金ということに関心をお持ちになられます事は必定の事と思われます。国民皆年金制度において一人自分だけが脱落者となりませんよう、心よりお祈り致します。

役場国民年金係

# 辰のことなど

## 新年にあたり

十二支。子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥。中国古代より陰陽五行の説に基ずき陰陽家が使用。現代では年と日にこれを配して呼称。又時刻、方角にも用いた。（平凡社の小百科事典）

今年はその辰年に当るという。この十二支に各々動物をあてはめたのは後世になってからのことで、その中でこの辰（たつ）には龍があてがわれた。

龍は、十二支につけられた動物の中では、たった一つの想像上の動物である。想像上の動物で有名なものにはこのほかに麒麟（キリン）貘（バク）狽（バイ）鵬（ホウ）鯤（コン）鳳（ホウ）などがある。

キリンは今では、首の長いジラフをさすことになっているが、本来は、中国の想像上の霊獣で、牝を麒、牡を麟といい、「聖人出でて、王道行なわるればあらわる」といわれている。天性すぐれてかしこい子供を麒麟児というは御承知の通り。

貘は、悪夢を喰って、邪気をはらう、と伝えられており、これも、今では、似た動物に、同じ名がつけられて、動物園におさまっている。

狽は、狼狽の狽で、ろうばいする。あわてふためくのばいである。これがなぜ、あわてふためくの意になったか、甚だはっきりしないのであるが、一説に、狽は、前足が短かくて、無いに等しく、常に狼の上に乗って、一しょに行動しているので、狼を失なった狽は全く歩くことが出来ず、進退谷まる。それをいうのだといわれている。とにかくあまりぱっとした動物ではないらしい。

鳳はおおとりといわれ聖人が世に出ればあらわれる、という瑞鳥。梧桐に非ざればすまず、竹の実に非ざれば食わず、醴泉（レイセンー甘い味の泉）に非ざれば飲まず、羽毛五色にして、五つの音を出し、飛べば全ての鳥が従う、という大した鳥になっている。雄を鳳雌を凰というなど、なかなか、動物作りもこっている。

それにくらべると、鯤、鵬はさっそうとしている。これも、中国の産で「北冥ニ魚アリ。其名ヲ鯤ト為ス。鯤ノ大ナルコト其ノ幾千里アルヲ知ラザル也。化シテ鳥トナリ、其ノ名ヲ鵬ト為ス。鵬ノ大ナルコト其ノ幾千重アルヲ知ラザル也」。とにかくどえらいものだったらしい。鵬は知らずとも、大鵬を知らない人はあるまい。

その中にあって龍は、最も神霊にして神通力のある動物であったらしい。鳳、麟、亀と共に四霊といわれ、うろこのある動物の長として尊敬され、英雄、俊傑、特に天子君王の象徴として重くあつかわれてきた。古来、東西を問わず龍の伝説は多く、いずれもすぐれた神通力をあらわし、雲をおこし、雨を降らせたと伝えられ、当町、了専寺の龍の彫物にも、大火の際、その口から水を吹き出して、寺を守った話など、すぐれた郷土史研究家柏大治氏の著書にくわしい。

龍にまつわる言葉は多い。龍の胸に一枚の逆さ鱗があって、これにふれると怒って必ず殺すといわれ、「逆鱗にふれる」はここからきている。龍は君子の象徴だから本来は君子の怒りにたとえられた。また龍涎香という香水がある。マッコウクジラの腹中にできた一種のできものから取るといわれ貴重なものである。龍ともなると、よだれまで、値が出てくる。今年は龍年である。思い切り天かける勢で、進みたいものである。

また今年は計画もおそかったため、準備等の面でこまったが明年度からはもっと早く計画し、また各部落での新年式等もあり、もうすこし研究したらという声もあり、また名刺交換会でなく、もっと一般町民も参加できるよう、町民新年顔合わせ会というようにしたらという声もあり、明年度の研究課題として、今後各方面で話し合いを進めたいもの。

贈り物のサンタさん

## おめでとう

### 名刺交換会開く

さる一月一日小須戸小学校において、新年の名刺交換会が開かれた。これはこの数年来開かれていなかったが、学校等での新年式もなく、開いたらという声があり、急に開催したもの。

元日は朝からあまり良くない天気であり、会の開かれる午後二時には、雨という悪天気となったが申込の数をはるかに越す約六十数名の参加があった。

式は町長の年頭の辞にはじまり、冷酒で乾杯し約二時間。「万才」でめたでく昭和三十九年がすべりだした。

## 小須戸橋竣功式

### 決算報告

小須戸橋竣功式に際して、町民のみなさんより多大な御協力をいただきありがとうございました。ここに収支の決算報告をいたします。

特別寄附金　二五二、〇〇〇円
各常会寄附金　一〇二、六九〇円
商工業者寄附金　二一〇、六五〇円
町補助金　三〇〇、〇〇〇円
○合計　八六五、三四〇円
○支出総計　七九七、五九七円
○差引残高　六七、七四三円

## 師走の風に

### サンタクロース

さる十二月二十四日クリスマスイブに、小須戸町矢代田、竹井機器工業株式会社々長竹井七郎さんは、日頃病院に入院している人達をなぐさめようと、県立小須戸病院の入院患者三十八名に、クリスマスケーキのプレゼントをやった。

このことは年末助け合い運動などが進められていた時期でもあり、一般に忘れられようとしている助け合う心が、一層大切なものだという教えとなろう。

また入院の患者さんたちもこの思わぬ贈り物に、大変喜び楽しいクリスマスを送った。

## バザーのご協力

### ありがとうございました

先月号で掲載いたしますつもりで、お願い致しましたところが、色々な手違いで、時期おくれとなり本当に申しわけありませんでした。

本年は特に小中学校のPTAの方々から面倒な食券売りまでしていただき、予期以上の成果を収める事が出来ました。

量質ともにおはずかしい様なもので、さぞかし御不満な点も多かったことと存じますのにこゝまで来たことは、本当に皆々様の温かい思いやりのおかげと存じ、私達は今おわびと感謝で胸一ぱいです。

実は、プール建設の際私共もさゝやかではありましたが、寄附の先達の仲間に入れていただき子供達の喜ぶ顔の実現の一翼をになう事ができたと自賛も致して居りました私達であり、そのさゝやかな誇りと喜びの心の糸は今も尚胸の何処かにひそんで居ります。

「夢よもう一度」こんなことを考えながら今回は学校の完全給食が一日も早く実現され、子供達がより健やかにより朗らかに夢多い少年時代を過せる様にと念願して、純益中より十万円だけPTAに御寄付申し上げ且つは皆々様への感謝のしるしに且つは私達の不手ぎわのおわびのしるしにさせていただき、残余は今の運営資金にさせていただき、かよわいながらもよりよい会の運営に努力させていただくつもりでありますので、今後とも御指導と御鞭撻をお願い致します。

御礼がおくれまして新年の御挨拶になりましたが、みなさんよいお年をお迎えしたこととお喜び申し上げます。

小須戸町連合婦人会

## 農地法の話

### その六

**一、農業生産法人でいう常時従事者とは、何日くらい仕かなければならないのですか。**

年間百五十日以上であればよいことになっていますが、百五十日にみたないときは、一定の算式によって判定することになっています。

**二、農業生産法人は、六つの要件をみたすものでなければならないといいますが、その要件の一つが欠けても駄目ですか。**

要件が一つ欠けますと三カ月以内にその要件をみたすための措置をしてもらうことになっています。その期間に要件がみたされない場合は更に、三カ月の猶予期間内にその法人の、所有農地は他人に売るか、借り受け農地は返還しなければ、国が買収することになります。

**三、農業生産法人の常時従事者である構成員が脱退したり、常時従事しなくなった場合は、その法人に貸し付けていた小作地を返してもらうことができますか。**

もちろん返してもらうことができます。脱退したり、常時従事しなくなった場合は、三カ月の猶予期間内にその法人に売るか、返還を受けなければ国が買収することになります。

**四、農地を信託するには、どうすればよいのですか。**

農地の信託事業は、農業協同組合が行ないます。信託には売渡信託（農地を売ってもらう方法）貸付運用信託（農地の貸し付けをしてもらう方法）

売渡貸付運用信託（農地を売ってもらうが、一年以内に売れない場合は貸し付けをしてもらう方法）があります。いずれにせよ、農業協同組合に農地の所有権を一旦移すことになります。農地を信託したい方は、信託契約申込書を組合に提出して下さい。組合は審査をしたうえで、信託契約をむすぶことになっています。

**五、農地を信託するには知事の許可が必要ですか。**

信託の引き受けと信託の終了の際は、知事の許可を必要としませんし、自作地と小作地をあわせて信託することもできます。

## 御協力下さい

### 商店街の一斉休日は五日と二十日です

小須戸町商工会

## めいわくシリーズ（その五）

### 『おたち』

「あそこへ行った時には、あれだけごちそうになったから、どうしても食べてもらわなければ……。」とか、「あんなにやいやいと強ゝすすめられたのだから、うちへ来た時でも同じようにおもてなしをしなくては……。」とかいった気持ちや、「きっと遠慮して食べないのだろう。」といった考えからすすめるとすれば、かえっておかしなことになってしまいます。

他人のことを考えているようで、実は自分の考えを押しつけているからです。

自分が遠慮深いから他人もそうだと考えることは、あながち悪いことではないのですが、あまりに遠慮が過ぎると、かえって他の気分を害することになります。（もちろん遠慮のなさ過ぎるのもぎすぎすしてうまくありませんが）

このあたりの呼吸がむずかしいところでしょうが、日本では長い間の封建制から自分の考えよりもむしろ他人の考えの方を先にする習性が養われ自分の考えを出し切ることなしに、周囲のものに流されてしまう傾向が残っているようです。

自分の考えを大切にしないところから、他人の考えをも尊重しない、他人の意見を重視しているようでいながら、つまるところは軽視しているという矛盾が出てくることにもなるのです。

他へ行く途中、ちょっとした用事で立ち寄ったところ、「さあさあ、どうぞどうぞ……」と家へ引き上げられ、「何はなくとも、まず一ぱい」から始まって、「珍しいこともないでしょうが、家の餅をどうぞ一つ」がおかわりの無理じいの三杯ともなると、気はあせるし、腹は苦しいし、といったぐあいで全くごちそうになったのか、それとも心身ともにいためつけられたのかわからなくなってしまう。

「いそうろう　三杯目には　そっと出し」という川柳がありますが、いつ行って無理やり三杯目を食べさせられる切なさはだれでも経験しているところでしょう。

ところが、自分で苦しい経験を持ちながら、さて自分の家へお客が来た場合はどうでしょうか。やはり無理にすすめてお客を困らせていることがあるのではないでしょうか。

これは全くおかしな話ですが、どうしてなのでしょう。

日本人、特にいなかの人は仁義がかたい、義理がたい、人情が厚いなどと言われています。

人間社会で良いと言われるものには、必ずといっていいくらい悪い面もついて回るもので、仁義だとか義理だとか、あるいはまた人情なども、何か今の世の中では封建的と考えられたり、古くさいと思われる点がなきにしもあらずです。

そしてついに一番だいじな用の方はすっぽかしの余儀なきに至るといった次第。

全くわが身立をてんとすれば他を立てられず、他を立てんとすれば、わが身立たず、とはつらい浮き世の義理、人情というところか。

それにしても、他人を無理に止めて、もてなしておきながら、帰ったあとで、「なんて長っちりの図々しい人なんでしょう、おたちの三杯もしていったよ。」とかなんとか言わなくてもいいように気をつけましょう。

お正月なんかは特にね。

## 12月　購入図書

◇くすり太閤記　片柳忠男
◇別れに愛を　三好徹
◇天の踊り　黒岩重吾
◇嫁と姑　及川和浩
◇小児科医の眼　松田道雄
◇雪に残したう　新田次郎
◇親に孝に　源氏鶴太
◇勉強の新しい作戦　辰野千寿
◇ヨーロッパをヒッチ　磯貝浩
◇宇宙をせまくする本　瀬川昌男
◇狂った細胞　水野肇
◇現代夫婦論　亀井勝一郎
◇あの日のあなた　永六輔
◇東馬江戸日記　諏手達治
◇私の現代芸術　岡元太郎
◇世界の旅　兼高かおる
◇まぼろし若衆　上下
◇右全じ　角田喜久雄
◇少年の橋　後藤紀一
◇新書太閤記巻十二　吉川英治
◇孤独の賭け第一部　永六輔
◇右全じ　第二部　五味川純平
◇女の小箱　黒岩重吾
◇二十一歳の父　曽野綾子
◇田螺のうた　岩倉政治
◇生命の河のながれ　武者小路実篤
◇男の子は女の子の何を知りたいか　石垣綾子訳
◇忍法秘巻　早乙女貢
◇山の波紋　筒井敏雄
◇いろ艶軍改訂　佐藤弘人
◇はだか随筆　佐藤弘人
◇この酒盃を　円地文子
◇銀の庭　水上勉
◇日本の黒い霧　松本清張
◇飢餓海峡　水上勉
◇幕末　司馬遼太郎
◇易（えき）　黄小娥著

## 御案内

### 珠算検定試験

期日　二月二十四日（日）
場所　小須戸中学校
申込　一月二十四日まで小須戸町商工会（電五六〇番に）
級別　一級より八級まで
時間　一、三、五、七級は午前九時三〇分より
二、四、六、八級は午前十時五〇分より
検定料　一級　二〇〇円
二級　一五〇円
三級　一二〇円
四～六級八〇円
七、八級七〇円

みなさんさそって検定をお受け下さい。未来にきっと役立ちます

## 忘年句会報

小須戸町俳句同好会

駅からの重き手荷物片時雨　喜雨
新橋に並ぶ仮橋年の暮　虚秋
天を突く師走の花火渡り初め　一陽
短日や一人いらだつ事ばかり　南水
霰降る音の忙しき電話かな　山葵
頬被りしてお父さんと呼ばれけり　香月
寺の塀山茶花も見え枇杷も咲く　竜朗
古里の大炉もさびれ灰ならす　ひさ
うろ覚え唄まとまらぬ忘年会　杏水
小春日や浮くだけ浮けるガスタンク　水月
竣功の橋に冬川よどみなく　芳人
初霜左官の仕事遅れがち　渓灯
山茶花の散りそむる門冬日ざし　紫川
旅にねて枕はかたし秋の雨　流水